

(事業者向け) H29年度 放課後等デイサービス自己評価表 (プレザントアリス)

公表:平成30年3月31日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			活動の部屋と学習部屋と食事の部屋を分けており、利用者数に対するスペースは十分に確保できています。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			基準以上の職員配置をしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			1階部分であり、段差等はありません。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			朝礼前にその日の業務について職員間で話し合いの場を設けています。活動前後には、業務確認や振り返りを行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			年に1回、保護者向けのアンケートを実施し、集計結果を考察して改善が必要な項目については取り組んでいきたいと思っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			法人ホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	現在、実施していませんが今後は検討していきたいと思っています。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			毎月、事業所内部研修を実施しています。外部研修へ参加した際は、施設内の研修へ反映させています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			子どもと保護者に面談を行いアセスメントを行っています。ニーズの適切な把握に努め、計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		専門職と連携しながら、2種類の標準化されたアセスメントツールを活用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			年間の行事予定表をもとに担当者を振り分け、運動、学習、製作など毎月の課題遊び表の作成を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			課題遊びの計画は担当者が運動課題や制作、学習など専門職と連携しながら工夫して計画しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			休校日は、午前中に制作した物を使用し午後に活動を行った後、外出活動など様々なプログラムで行うことができました。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			個別の状況に応じて作成しています。
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			朝礼後にその日の活動内容について出勤者で打ち合わせを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			業務終了後にミーティングを実施し、活動の振り返りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			個別に毎回ケース記録を作成しています。また、状況に応じてケース会議を実施しています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			6か月ごとにモニタリングを実施しています。結果を分析し、計画書の見直しを行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	<input type="radio"/>			基本活動を組み合わせさせて子どもの状況に応じて対応しています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関 や保護者との 連携関係	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が基本は参加していますが、必要に応じて担当職員が参加をしています。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			家族から伝えられた下校時間と実際の下校時間が違うことが数回ありました。変更事項は連絡帳や電話などで確認をしていき、学校とも行事予定表などで情報共有を図っていきたいと思います。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		導尿が必要な方がおり家族を通して確認し、連絡体制を整えています。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援センターから移行支援シートの提出、会議の実施により利用者の情報共有を図っています。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		対象者なし。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			当法人の児童発達支援センターと連携しています。必要なケースはスクールソーシャルワーカーへ相談を行い助言を頂いています。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	特に設定していません。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		法人で参加した職員から申し送りを受けています。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			家族の送迎時に話をしたり、連絡帳を活用して利用者の共通理解に努めています。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		ペアレントトレーニングは行っていませんが、保護者からの相談には専門職などと連携して対応しています。	
保護者への 説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時に重要事項で細かい説明を行っています。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった際は、専門職と連携し、ケースに応じて後日解答などさせて頂いています。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			親子活動などを行った際に保護者会を実施しています。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談苦情受付窓口、解決責任者を設置しています。苦情があった場合は、マニュアルに基づき迅速に対応させて頂きます。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人の広報誌(アイセン)を年4回発行しています。プレゼントタイムズを季節ごとに発行しています。
	35 個人情報に十分注意しているか	○			子どもの写真を広報誌などにのせてほしくないと言う保護者の意向には慎重に配慮させて頂いています。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			写真カードや文字カードなど視覚的に工夫し対応しています。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	そのような取り組みを実施しておりません。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員はマニュアルの周知を行っています。マニュアルは事業所入口に準備していますが保護者への周知という観点からは対応の再検討が必要と考えています。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練は実施していますが、今後は不審者対策にも取り組む必要があると考えています。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人研修や施設内研修で障害者虐待防止法、権利擁護についての研修を実施しています。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		現在、対象者はおらず身体拘束の事例はありません。身体拘束のマニュアルや同意書は整備してあります。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		現在、対象となる子どもはいませんが、施設内の管理栄養士と連携を図っており対応が出来る体制は整えています。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			報告書を作成し、回覧し、再発防止策などの検討を行っています。今後も事故を未然に防ぐためにも、事例の検討を日々行っていきます。

評価実施日：H30年3月20日